

神代之風



熊野三山
奥之宮

発行：世界遺産 玉置神社
出雲大社玉置教会
発行人：弓場 季彦
奈良県吉野郡十津川村玉置川一番地
TEL 0746-64-0500
FAX 0746-64-0429
http://www.tamakijinja.or.jp



山上の結婚式

かくも雅(みやび)に、美しく(3面)

宮司私感 & さらば (2面)
闘う宮司 (3面)



お神酒に頼もほんのり



笑顔 家族 女性 お幸せにね

参拝される方々は、年間9万3千人を越え、3年間で3倍強となったのは、ありがたく、驚き。
特に印象深いのは、はじけるように元気な若い方々の姿が激増したこと。そして、さらに加えて、うれしいのは、ファミリーで参拝される皆さんが最近富に増えてきているということ。境内に子どもさんたちのにぎやかな声が弾んでいます。

年間参拝者9万3千人越え

「様変わり」に神々は「うん、うん」とお喜びになられている、と思います。
もとより、神域をしつとりと味わっておられるような年輩の方々のご来社もご健在。よく調べていらつしやるなど感じる質問も飛び交い、職員一同、刺激を受ける日々。
皆様をサポートされ、励まされ、もつともつと考え、前へ進まねば、とー。ありがたや。いつも、感謝。

はじけるファミリーの笑い声
千古の神域「様変わりしました」



8月8日 大日堂大祭
9月 秋分の日 出雲大社玉置教会祖霊祭

宮司私感



わが家から標高1000メートルの神社までの道中は、約1時間10分。朝(あした)には眼下に雲海。夕べには山並みを染める夕陽の超大型のパノラマが眼前に迫る。

山に棲(す)む諸動物は道路に次々と現れ、木々をわたる鳥、悠然と空中を舞う鳥。大自然に抱かれ、それぞれが役割を背負っての共生か。
広報紙「神代之風」も今

回で19号の刊行。ご関心も高いようで、7千部用意したこともあり。お陰様で参拝者も年間9万3千人を越えました。
広報紙の内容も、四季折々の祭典などのご紹介だけでなく、日々の職員一同ご奉仕の模様、皆さま方のお声なども・・・柔軟に、自在に、変化多く、と心掛けております。
ただ辛抱、辛抱の日常。皆さま方に支えられ、「自分は一人では無い」と胸を叩きながら、可能な限り、「発信すべき」と思われることは、堂々と心熱く発信して参りたい。

新たな道へ

吉野神宮齋館で5月15日、奈良県神社庁吉野郡支部総会が開かれた。

当社から宮司と神職の2名が参加した。

一連の会務報告があり、議案のひとつ、役員改選について、支部長から「新しい役員を旧役員で決めました」と報告があった。

それに対して、当神社の弓場宮司は「昨年も、ある神社の宮司が言った通り、推薦したい人がいるのに、それはどうなるのか?」と、また「その機会さえ設けないのはいかがか、と意見を出したはずだが」と質問した。

支部長の返答は、「3月中に決めなければならぬため、旧役員だけで決めました」と言う。

論外の説明に、ひっくり返りそうになったようだが、弓場宮司は、旧役員だけで新役員を決めるという根拠にも疑問あり。「全くおかしい。今回の役員選任には反対である」と反論した。支部長は「皆さん、弓場宮司の意見に賛成か、反対か」と問うと、全員沈黙した。寂として声なし。

すると、支部長は「反対ですね。よって、弓場宮司の意見は否決となります」と、何故か急ぎ旅の様子。

弓場宮司は黙っていない



眼下に雲海(宮司撮影)

また、弓場宮司は、怪文書をバラまかれたこともあり、その怪文書はコピーして、神社に掲示してある。ご覧になった方々、あるいは怪文書を受け取った方等は「これは、明らかに神社の職員か、職員であった者しか書けない内容ですね。〇〇がバラまいたのだろう」と固有名をおっしゃる方もおられる。個人を攻撃しているようで、神社への敬意は皆無、神社を貶(おとし)めようとしている。
「神社を守る為にも法的手段を執り、真実を明らかにしていくべきだ。何故、そうされないのか」とおっしゃる方も、現在もおられる。
このような背景もあり、「支部は所属神社の相談に応じたり、助言するということはないのか? 支部は、支部内の神社で生じていることに、全く関知しないということか?」と質問したところ、支部長は「全く関知しません」と明言した。
そこで、弓場宮司は「支部に加入するメリット、加入しないデメリットは何か?」と問うも、答えは無し。
はてさて、面妖なり、不思議。ここは異界なのか、どうしてこんなところにいるのだろうか。
不毛の時間を過ごす余裕はなし。さらば、さらば。
新たな道を歩もう。

闘う宮司

Fight

定例の諸事報告する氏子総代会(氏子のみで構成。崇敬者は皆無)が5月26日、開催された。

説明は省略しますが、諸般の事情により、総代、責任役員、地位を去っていただいた各氏が仮処分命令で仮の地位を認められ、出席。

7名の各氏の中から「これは氏子総代会か」「氏子総代会は我々が議長を決め、進めていく。代表役員(宮司)は構うな」「氏子総代会の召集は(代表役員)宮司にあるとはどこにも書いとらんど」「(配布された)資料はさっぱりわからん」等の声があがるも、この氏子総代会の趣旨を繰り返し説明し、報告は全て完了させ、質問の呼びかけもしたが、確たる反応も無く、総代会を終えた。

回収することを、あらかじめ申し上げて配布した資料の返還を求めたが、返還しないとして、7名の各氏は強引にそのまま持ち帰った。ありえなきこと。

そこで、神社側は、神社所有の資料を直ちに返還されたい旨文書を、内容証明付きで郵送した。

総代は、最低の知識と常識をお持ちの方々で務めていただきたい。責任役員は、その総代から選ばれているのが現状。

配布された資料の「わからんところもわからん」…とか。氏子総代会に参加できない圧倒的多数の全国の崇敬者の皆さん、この態(てい)を、どのように受け止められるだろうか…。誠に、恥ずかしきことのみ多かりき、なのです。

「恥ずかしき」と

されど、決然と



玉置神社

山上の結婚式 お幸せにー



標高千メートル。玉置神社本殿。4月3日。雨と深い霧。幻想的な風情の中、一組(小松原・岩下両家)の挙式が執り行われた。

新郎は束帯を身にまとい、冠を被る。新婦は古代の髪型「みずら」に結び、平安調白無垢(しろむく)をお召しに。豪華で上品な婚礼衣装。夢のような雅(みやび)の世界。どうぞ、お幸せに。誠におめでとございました。

International Jinja

巫女さん、外人さんも祝福



奈良フィル・全良雄さんを偲び

追悼コンサート



挨拶される大原末子夫人

過日他界した奈良フィルハーモニー管弦楽団団長・全良雄さんを偲び、お別れの会と追悼コンサートが4月9日、やまと郡山城ホールで行われました。

全さんのお人柄の良さは拔群。会場にはたくさんの方々が。早すぎる旅立ちを惜しみながら、お別れの交流。

ご夫人が後を引き継がれる。飛躍を心から祈ります。

全さん、大丈夫、安心していいよ。多くのサポーターもいますからね。



全さんの懐かしい写真(左上)に「ありがとう」「やすらかに」…と

こんなに多くの皆さんが



あふれる思い出

宮司と夫人

これはまさしく祈りの舞、祈りの演技ではないか、と。鍛え込んだと思われる様々な型を次々と現出するかと思えば、直立不動のポーズで神々へ感謝の言葉などを繰り返す。緊張感みなぎる結果があるのかな、とすら感じました。リーダーの高岡慎之助さんはじめ皆さん、東京からお出かけください、確かな文化を発信されましたね。

ボランテニアとしても活動していただいている西谷安代さんは、ヨガも楽しんでおられるとのこと。「是非神々の前で演技をご奉納したい」と申し出があり、5月20日、グループ8名の皆さん、正式参拝の後、神楽殿にて奉納。約20分間、階下で拝見。軽い衝撃を受けた。

東京から8名のグループ

祈りの演技奉納

「王羲之から空海へ」

大阪市立美術館内覧会

「お招き受け」

大阪市立美術館は来年、開館80周年を迎え、これを記念して特別展「王羲之から空海へ」～日中の名筆、漢字とかなの競演」が開催された。
4月11日、お招きを受け、開催式と内覧会に参加させていただいた。
数々の作品に圧倒され、鑑賞には心身ともにベストコンディションで臨むべきことを再確認した。そして、混雑する場内を懸命に案内などされる係員の皆さんにも好感が持てました。
良い機会を与えて下さいました。関係者の皆様、ありがとうございました。



安全祈願

交通安全

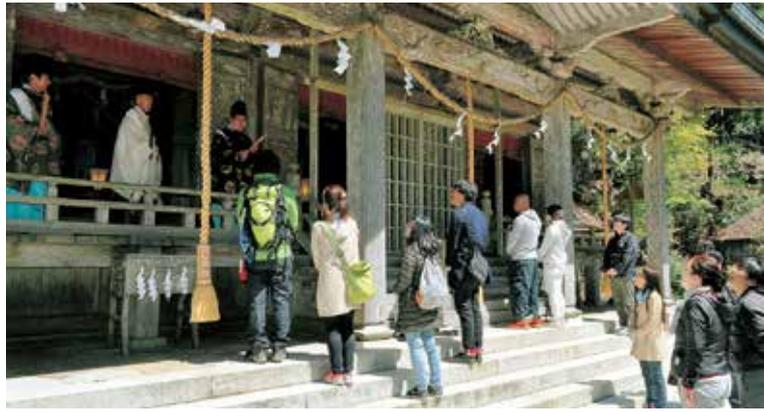
「キャラクターグッズ」

五條警察
十津川庁舎所長ら

ドライバーに手渡す交通安全の願いを込めたマスコットのお守り「キャラクターグッズ」が、こだまの里で制作された。

4月5日、五條警察十津川庁舎・田中侑二所長、交通安全協会十津川地区協議会、こだまの里の関係者の皆さんで来社され、ご神前でご祈禱を受けられた。過ぎ越し日々の玉置の神霊の御心に感謝を込めて。

昭和祭



そうなんです ありがたいことです
若い方達 山上への参拝 神々もきっとお慶び



何でもお聞きくださいね

前日は猛烈な雨。昭和祭当日(4月29日)、空は悲しいほど蒼く晴れ。しかし、強い風と寒気に襲われた。杉の巨樹群からは黄金色のお陽様の光がサーチライトの如く強烈に境内、参道に差し込む。あえて申すなら、玉置山には「これが現世か」と思う風景が日替わりで訪れる。
ありがたいことですね。神々もお喜びでしょうね。そうなんです。参拝される方がたくさんでした。祭典の方もしつかりと見ておられました。いずれの方様もご縁を続けていただけるように感じました。勝手ながら！



ジャクナゲの花も嬉しそう



白山社例祭

昨年(くりひめのみこと)縁結びの神として崇敬を受けている。この祭典に参列してご縁を得たという方、ご縁の啓示を受けたとおっしゃる方もおられる。ご同慶の至りですね。

白山社は乳岩といわれ、ここに湧き出る水をいただくとお乳の出がよくなるとも伝えられている。参列者の皆様も祭典準備にいろいろとお手伝いいただき、手づくりのほのぼのとした空気が漂いました。皆様、ありがとうございます。ありがとうございました。

若宮社・神武社・水神社各例祭

若宮社及び神武社及び水神社各末社3社の例祭を5月25日に初の斎行。玉置の山に鎮座されている神々の多さを再認識。重たくて畏(こわ)い。されど、ありがたきかな。

市木稻荷神社の皆様

正式参拝



三重県市木村に万延年間(1860)、稻荷大明神が祀られている市木稻荷神社の方々は、毎年、三柱神社に正式参拝される。
本年も雨の中、18名の皆様が来社。
宮司も出迎え、永年の交流がまた繰り返されたようでもあった。
折角の機会だと、社務所、境内等も興味深く巡っておられました。



重要文化財の花鳥図 興味深くご鑑賞

石楠花・花殻摘み

十津川村観光協会



さあ、ご奉仕 皆さんよろしくー

5月初旬、境内を中心に、淡紅色の花を奥床しく咲かせるシヤクナゲ。玉置神社の魅力を高め、多くの参拝者を山上の都へと誘ってくれてい

る。
十津川村観光協会(田花敏郎会長)の呼びかけで21名の方々がご参加くださり、恒例の花殻摘みが6月10日行われた。

作業は和気あいあい、明るい笑い声でいっぱい。晴天、太陽もいっぱい。爽やかな風が心地よい。皆さんの動きも軽やか。輝いていました。シヤクナゲさん、来年も美しく帰ってきてください。

ご参加の皆様、お世話誠にありがとうございました。心から御礼申し上げます。



忠義の心は永しえに・・・王寺町の方々が顕彰

「十津川の懐へ向かうべし」との夢のお告げもあり、とか。大塔宮護良親王主従9名は、玉置の御山まで落ち行く。南北朝時代の話。

嗚々、されど人の心は種々(くさぐさ)に動くは悲しかり。親王の行く手を阻むは、出自に諸説あるも、この地に住み着いた玉置の荘司なる者。

片岡八郎公は、宮を見送り、只一人奮戦討ち死。身は魂魄(こんぱく)となるも忠義(まこと)の心は永(とこ)しえに揺るぎなく。

行き交う人々は山の花を供え、八郎公を偲びました。いつしか、「花折

片岡八郎公慰霊祭

十津川・花折塚

塚」と呼ばれ、時空を超えて今に続く。

公は、現在の王寺町のご出身。毎年王寺町の片岡八郎公顕彰会が中心となつて慰霊祭を斎行されている。玉置神社はご奉仕させていただいて

います。
本年も5月19日、20名余りの方々が参列された。

空は蒼(あお)く澄み渡り、木立を勢いよく吹き抜ける風は寒くもあり熱くもあり。

御霊は人の敬によりて威を一層増されたのかな。

十津川村商工会

清掃奉仕リターン

昨年は雨の訪問者か、商工会青年部の皆さん中心に神社境内等を一斉清掃。今年も清掃器材も装備して皆さん帰って来られました。ダイナミックにしてスピーディーに作業。

皆さん、とにかく明るく、動きにキレがあると拝察。作業の後にも活気の余韻。そして清浄な舞台が残っていました。

玉置神社、多くの方々に支えられて今日も元気をいただいていますね。皆さん、誠にありがとうございました。



青年部の皆様に支えられて



屋根の上の見事な「曲芸的」清掃「感謝」の言葉しかありません

あとに 清浄な舞台が残ったー

出雲大社例祭・出雲大社玉置教会例祭

出雲大社例祭(5月10日)に参列させていただきました。
 出雲大社玉置教会においても、同日、例祭を斎行している。
 出雲大社例祭を一度拝見したいと思っていたところ、お招きいただいたので、
 ありがたいことと、参列させていただいた。現場で体験することの大切さを改めて
 痛感。

スケールは異にしても、玉置教会での祭典のあり方にもヒントを得ましたよ。
 それにしても、たくさんの方の参拝者でした。約1時間30分余りの祭典。別次元
 にいたように思いました。
 なお、玉置教会でも同時刻スタートで例祭を斎行いたしました。
 参拝者の皆様方で大変賑わいました。家族連れや若い女性の姿も多く見られま
 した。まさに様変わりです。



出雲大社例祭

出雲大社玉置教会例祭



背筋もきりり 行儀よく

例祭も

こんなに様変わりしましたよ
 若いファミリーに新鮮な気分

Sketch

6景



丹波国一之宮出雲大神宮 鎮花祭・出雲風流花踊り



華やかに 風流花踊り



千家国麿・出雲大社権宮司 玉串奉奠



丹波国一之宮出雲大神宮(京都府亀岡市)での鎮花祭・出雲風流花踊りに参列しました。
 ここには、御蔭山という山を御神体山とした神奈備山信仰があり、国常立尊の鎮座する地として禁足地とされ、立ち入り可能なのは、国常立尊を祀る磐座までの参道のみでした。
 さて、鎮花祭は、花が飛散するのに伴い、疫病が四方に分散して病を起こすのを防ぐために行われる出雲大神宮の大祭の一つで、国家安泰、天下万民の幸せを祈る祭典。
 また、ここは、元出雲とも言われ、当日は出雲大社の「千家国麿権宮司」も参列され、玉串を捧げられた。
 続いて出雲風流花踊りが奉納された。降雨の御礼をする神事で、踊り手が花笠を被り、華やかな装束を身にまとい、優雅に歌い踊る。参拝者も興味津々見守っていた。
 賑やかさの中にもしつとりと味わいのある祭典でした。(鈴木清建禰宜・記)
 鈴木は、神社本庁より6月1日付けで玉置神社禰宜に任命されました。

霧にかすむ玉置神社



東日本大震災復興と鎮魂

全国巡礼

津軽三味線 奉納演奏



佐々木重吉さん

ラストの聖地に玉置神社

山上に夕闇迫る頃。小雨と霧の中から忽然(こつぜん)と現れました。

東日本大震災復興と鎮魂のため、全国170か所を巡礼、津軽三味線奉納中とのこと。

玉置神社をその終着の、満願の聖地に選んで訪れてくださったそうだ。正式参拝。

すでにみなぎるエネルギーが伝わってくる感じ。演奏中、扉も揺れている。周囲を圧する迫力。

神々に強い力で誘われ、呼び込まれている。そのように見えました。

演奏者の御名は、佐々木重吉さん。岩手県在住。

4名の男女同行者。にぎやかに見守る。

ご縁を心から感謝。次のご縁の早からんことを！

ありがとうございました。

ありがとうございました。



全国巡礼の皆さんと宮司 語り合う「ご縁」

魅せられた 魅せられた

「まあ、可愛いこと」

世の中にはまだ見ぬ宝物がたくさんあるのだろうね。源九郎稲荷神社(大和郡山市)様に機会を設けていただき、3月27日、「白狐渡御」を拝見。渡御の列は出発前からパワー全開、今や遅しとゆらぐ。押し出されるが如く列は動き出す。一転、歌舞音曲もにぎやかに。華やかなファッションも混じり、見物の皆さんも一体となったが如く。白狐さんに似せて化粧した子どもたちに「まあ、なんて可愛いこと」と声が。どのパートを追っかけようか、いや困った、困った。魅せられた、魅せられた。

源九郎稲荷神社

白狐渡御



中川囃昭:源九郎稲荷神社責任役員にご挨拶する弓場宮司



行動する宮司

「世の中には、宝物がいっぱいあるもんだ。とても勉強になったよ」